

# '10年度第1四半期決算



2010 07. 30.  
TOTO

## ◆ 売上は微増。

Vプラン等コストリダクションを進めた結果、営業利益は大幅に改善し、  
第1四半期としては、2年ぶりの営業黒字を達成

### 【国内住設事業】

- ・新築売上は、着工減少の影響を受け前年比▲16%となる。
- ・リモデルは、消費マインドが改善した結果、売上は前年を+4%上回った。
- ・ウォシュレット一体形便器・ネオレストなどが好調で、レストルーム商品の売上は前年比+2%。
- ・事業再編などVプランのコストリダクションを進めた結果、営業利益は大幅に改善。

### 【海外住設事業】

- ・中国はじめアジア全般で好調で、売上・利益ともに伸長。

### 【新領域事業】

- ・セラミック需要の回復などにより、前年比で+29%の売上を達成。

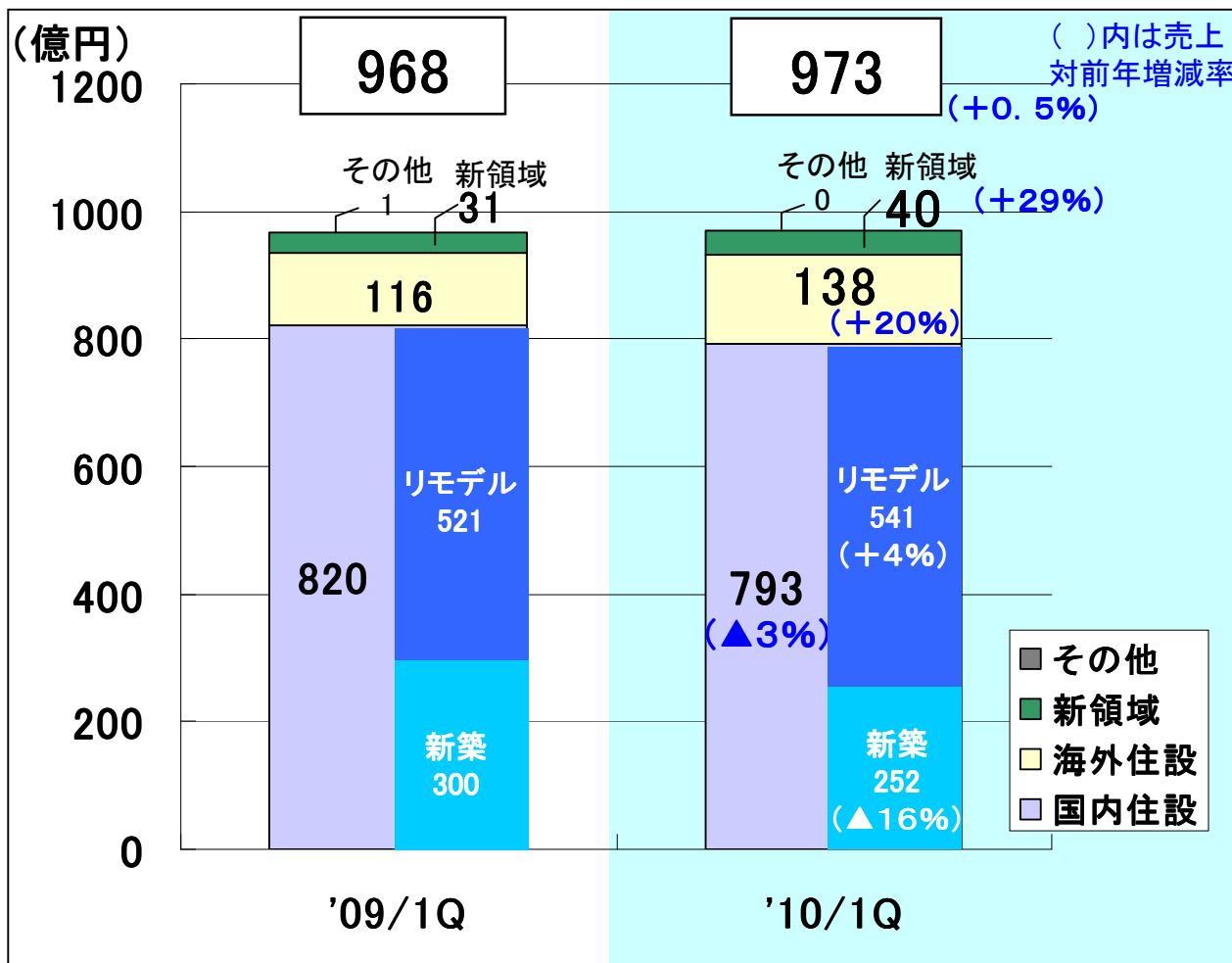
# 決算概要

TOTO

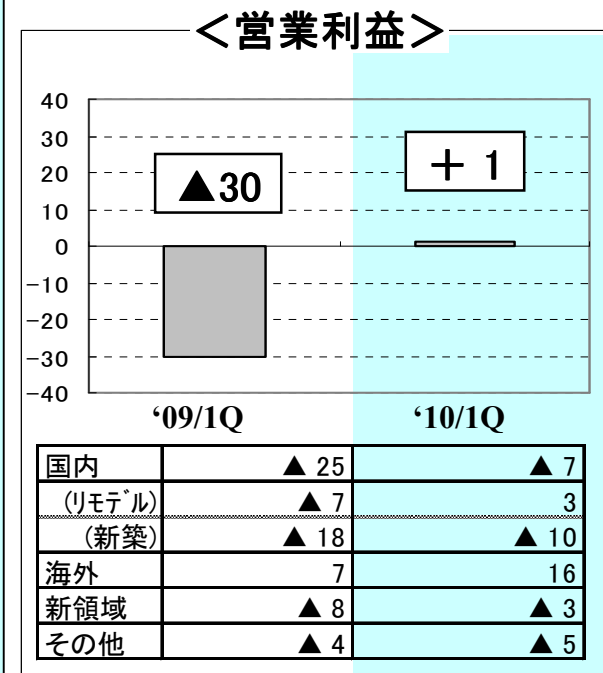
単位: 億円(未満は切り捨て)

	前年度 実績	'10年度 第1四半期		対前年増減 (増減率)
		計画	実績	
売上高	968	990	973	+ 5 (+0.5%)
営業利益	▲30	▲11	1	+32 -
経常利益	▲29	▲4	2	+32 -
特別損益	▲2	▲15	▲19	▲16
四半期純損失	▲39	▲26	▲27	+11

# 需要分野別売上高



注：  
マネジメントアプローチの導入にあたり、  
今期より需要分野別の開示を以下  
4つに変更  
『国内住設事業』 『海外住設事業』  
『新領域事業』 『その他』



# 国内住設の商品別売上高

TOTO

	'10/1Q	
	売上高 (億円)	前年比 (%)
レストルーム計	310	+ 2%
水栓機器		+ 1%
浴室		▲ 10%
キッチン・洗面		▲ 7%
バス・キッチン計	455	▲ 5%
その他計	48	+ 3%
合計(調整前) ※	814	▲ 3%
<b>国内住設合計</b>	<b>793</b>	<b>▲ 3%</b>

※セグメント間の内部売上高又は振替高

# 海外住設の市場別売上高

TOTO

(単位: 億円)			
米州	'09 1Q	'10. 1Q	増減率
売上高	49.1	43.4	▲12%
営業利益	0.5	0.3	▲39%
(為替 円/\$)	98.23	93.04	

(単位: 億円)			
中国	'09 1Q	'10. 1Q	増減率
売上高	43.6	61.9	+42%
営業利益	8.5	16.9	+98%
(為替 円/人民元)	14.36	13.63	

(単位: 億円)			
欧州	'09 1Q	'10. 1Q	増減率
売上高	4.8	5.8	+21%
営業利益	▲4.6	▲4.4	-
(為替 円/ユーロ)	129.84	124.92	

(単位: 億円)			
アジア・オセアニア	'09 1Q	'10. 1Q	増減率
売上高	18.1	27.5	+52%
営業利益	2.7	3.5	+31%

(単位: 億円)			
合計	'09 1Q	'10. 1Q	増減率
売上高	115.7	138.7	+20%
営業利益	7.1	16.3	+128%

(単位: 百万ドル) <現地通貨での業績>			
'09 1Q	'10. 1Q	増減率	
50.0	46.6	▲7%	
0.5	0.3	▲36%	

(単位: 億人民元) <現地通貨での業績>			
'09 1Q	'10. 1Q	増減率	
3.03	4.54	+50%	
0.59	1.23	+109%	

(単位: 百万ユーロ) <現地通貨での業績>			
'09 1Q	'10. 1Q	増減率	
3.7	4.6	+26%	
▲3.5	▲3.5	-	

**米国:** 需要減少の影響を受け、売上・利益ともに前年割れ

**中国:** 内陸部・沿岸部ともに好調で売上は前年を大きく上回る

**欧州:** 引き続き新規市場へのマーケティング投資を行い、営業利益はマイナスに

# 営業利益の増減益要因(前年差異)

TOTO

単位:億円(未満は切り捨て)

増減要因		'10/1Q 実績	'10/2Q 計画	10年度 計画
プラス 要因	コストリダクション	従前のコストリダクション +16	+ 21	+ 31
		Vプランコストリダクション + 5		
	リモデル売上高の増加	+ 7	+ 20	+ 28
	海外売上高の増加	+ 8	+ 10	+ 22
	経費削減(販管費など)	+ 11	+ 33	+ 39
	新商品準備生産等による増産益	+ 9	-	-
	その他	+ 8	+ 8	± 0
マイナス 要因	新築売上高の減少	▲ 15	▲ 15	▲ 24
	販売強化投資	▲ 7	▲ 40	▲ 63
	原材料の値上がり	▲ 5	▲ 14	▲ 27
	販売価格の下落・普及品の拡大	▲ 5	▲ 8	▲ 6
合計		+ 32	+ 25	+ 40

※新築・リモデルの増減益数値を修正しました。

このプレゼンテーション資料は、2010年7月30日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

あしたを、ちがう「まいにち」に。

**TOTO**